

術前化学療法後に病理学的完全寛解を認めた症例における再発リスク因子に関する研究

1. 研究の対象

2013 年から 2022 年の間に早期乳癌(遠隔転移を認めない乳癌)に対して術前に化学療法を行い、術後に病理学的完全寛解(術後の標本にがんを認めない状態)を認めた方

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2025 年 12 月 31 日

研究目的: 早期乳癌に対して術前化学療法後に病理学的完全寛解を得られた症例の再発リスク因子を発見することです

研究方法: 研究対象者の診療録を後ろ向きに調査し、術後再発の有無を調査し、再発リスク因子を評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: カルテ番号, 年齢, 病歴, 抗がん剤の使用の有無, 使用した薬剤, 術前の Stage や行った検査, 病理結果, 治療歴等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 乳腺・内分泌外科 樋口絢子

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究責任者: 乳腺・内分泌外科 樋口絢子

-----以上